

第5章 高校生の意識調査結果

第5章 高校生の意識調査結果

1. 回答者の概要

(1) 居住地

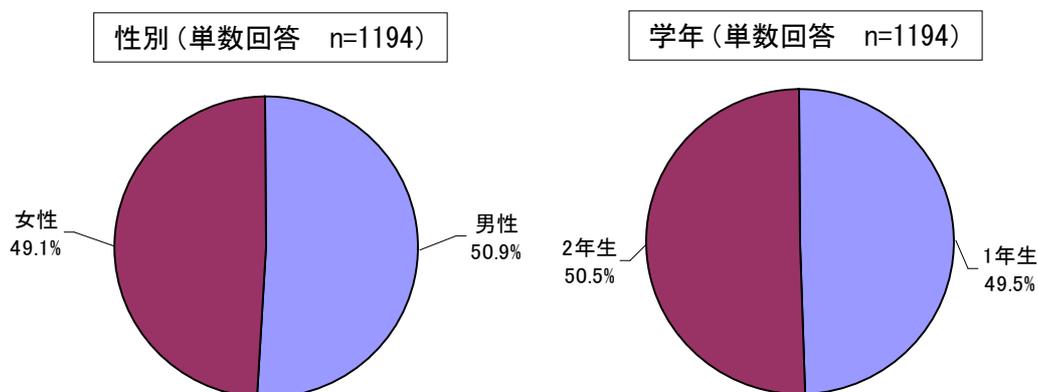
回答者の居住地は、五木村を除く 46 市町村となっている。 上段：割合、下段：回答数

あさぎり町	芦北町	阿蘇市	天草市	荒尾市	植木町	宇城市	宇土市
1.3	3.8	1.8	6.5	1.9	2.2	3.1	2.3
15	45	22	78	23	26	37	28
産山村	大津町	小国町	嘉島町	上天草市	菊池市	菊陽町	玉東町
0.2	1.1	0.4	0.5	0.4	3.1	1.4	0.3
2	13	5	6	5	37	17	3
球磨村	熊本市	甲佐町	合志市	相良村	城南町	高森町	玉名市
0.3	34.8	0.3	2.8	0.2	0.7	0.1	3.1
4	416	3	34	2	8	1	37
多良木町	津奈木町	長洲町	和水町	南関町	錦町	西原村	氷川町
0.5	0.6	0.6	0.3	0.3	0.7	0.3	0.5
6	7	7	4	3	8	4	6
人吉市	益城町	美里町	水上村	水俣市	南阿蘇村	南小国町	御船町
2.4	1.6	0.2	0.1	0.3	0.3	0.2	1.1
29	19	2	1	3	4	2	13
八代市	山江村	山鹿市	山都町	湯前町	苓北町	不明	合計
10.6	0.4	3.3	0.2	0.7	1.8	0.6	100.0
126	5	39	2	8	22	7	1194

(2) 性別・学年

男性が 50.9%、女性が 49.1%とほぼ同数の回答となった。

また、学年は 1 年生が 49.5%、2 年生が 50.5%と、ほぼ同数の回答となっている。

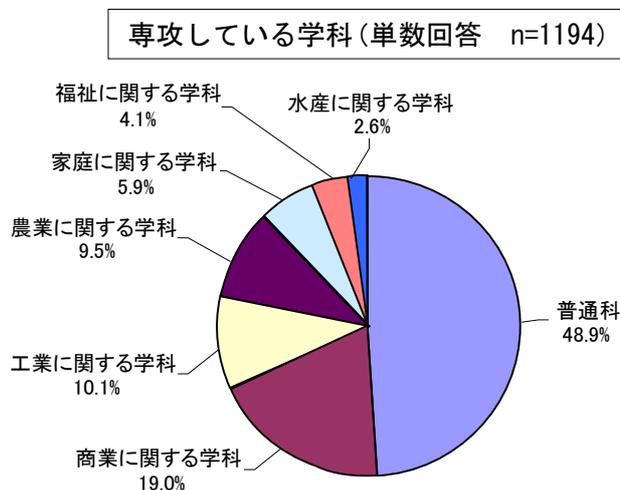


(3) 専攻している学科

普通科が 48.9%、「農業に関する学科」などの専門学科が 51.1%とほぼ同数となった。

専門学科についてみると、「商業に関する学科」が 19.0%と最も多い。次いで、「工業に関する学科」が 10.1%、「農業に関する学科」が 9.5%などとなっている。

学年別でみると、「普通科」が 1 年生では 55.8%、2 年生では 42.0%となっている。



専攻している学科 (学年別)		上段：回答数、下段：割合						
	合計	普通科	商業に関する学科	工業に関する学科	農業に関する学科	家庭に関する学科	福祉に関する学科	水産に関する学科
全体	1194	584	227	120	113	70	49	31
	100.0	48.9	19.0	10.1	9.5	5.9	4.1	2.6
1 年生	591	330	110	51	35	0	49	16
	100.0	55.8	18.6	8.6	5.9	0.0	8.3	2.7
2 年生	603	254	117	69	78	70	0	15
	100.0	42.0	19.4	11.6	12.9	11.6	0.0	2.5

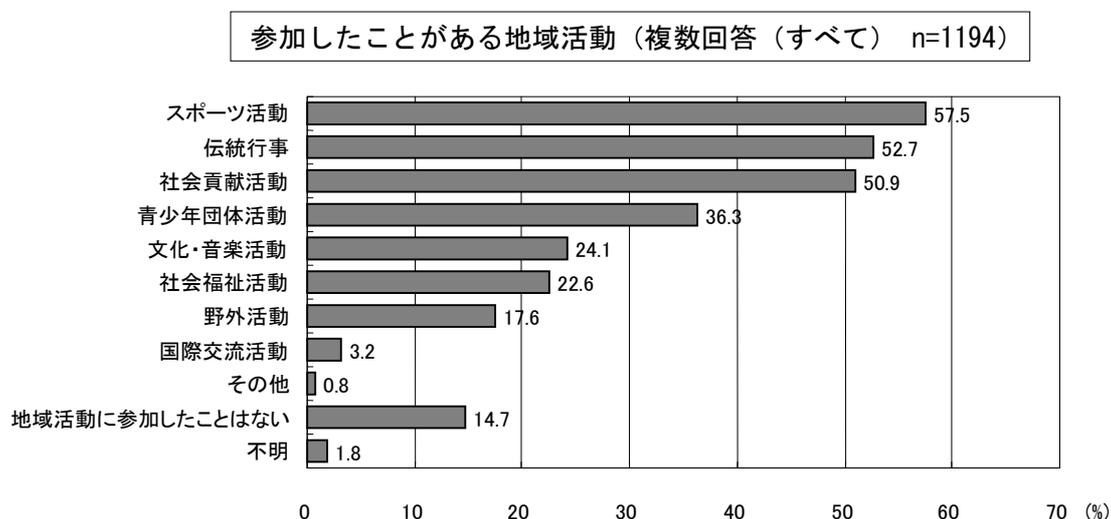
2. 生活環境

(1) 参加したことがある地域活動

「スポーツ活動」が 57.5%、次いで、「伝統行事」52.7%、「社会貢献活動」が 50.9%となった。一方、「地域活動に参加したことはない」は 14.7%である。

男女別では、「地域活動に参加したことはない」は男性で 16.6%、女性で 12.8%となっており、男性の参加がやや少ない。

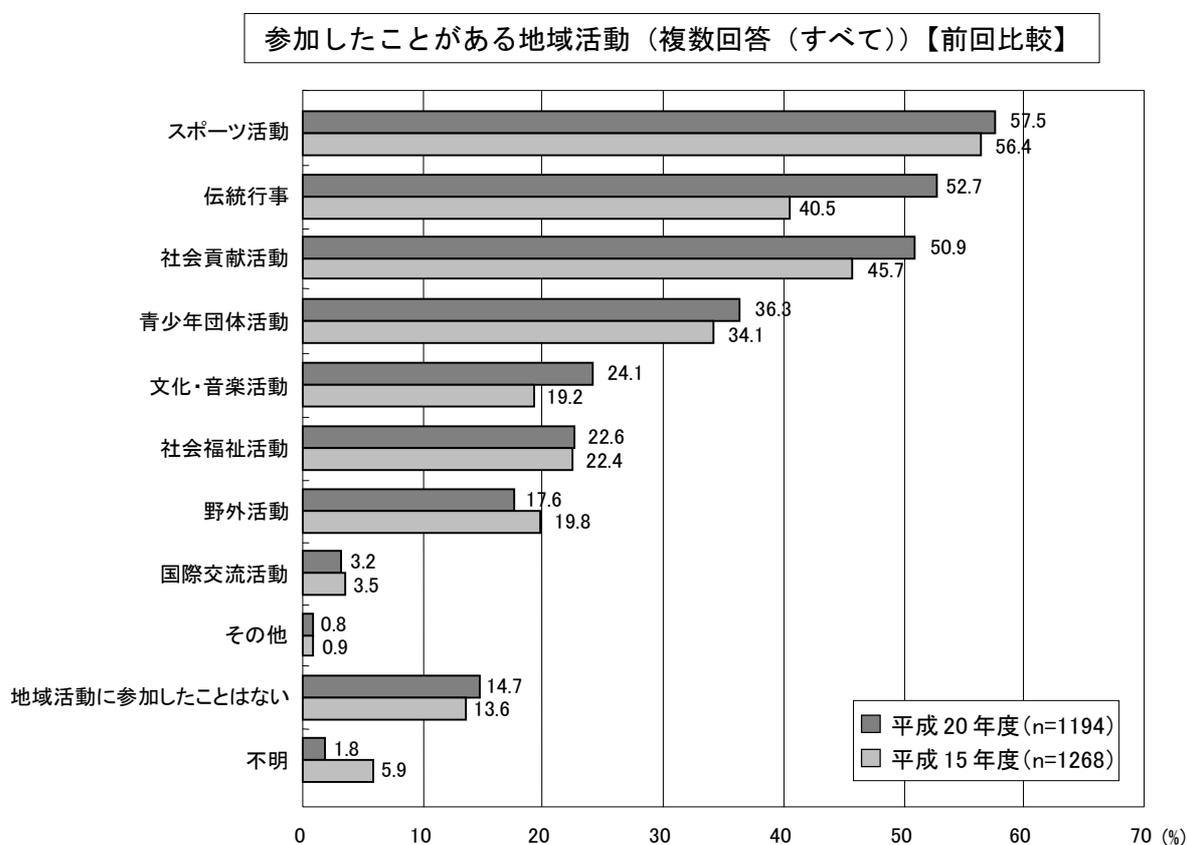
学科別では、「地域活動に参加したことはない」は、普通科の 14.2%に対して専門学科では 15.2%と大差はないものの、スポーツ活動などで普通科の学生の参加割合が高くなっている。



参加したことがある地域活動												上段：回答数、下段：割合	
	合計	スポーツ活動	伝統行事	社会貢献活動	青少年団体活動	文化・音楽活動	社会福祉活動	野外活動	国際交流活動	その他	地域活動に参加したことはない	不明	
全体	1194	687	629	608	434	288	270	210	38	10	176	22	
	100.0	57.5	52.7	50.9	36.3	24.1	22.6	17.6	3.2	0.8	14.7	1.8	
男性	608	379	312	275	204	121	125	118	14	2	101	11	
	100.0	62.3	51.3	45.2	33.6	19.9	20.6	19.4	2.3	0.3	16.6	1.8	
女性	586	308	317	333	230	167	145	92	24	8	75	11	
	100.0	52.6	54.1	56.8	39.2	28.5	24.7	15.7	4.1	1.4	12.8	1.9	
普通科	584	354	305	309	224	157	136	104	14	6	83	5	
	100.0	60.6	52.2	52.9	38.4	26.9	23.3	17.8	2.4	1.0	14.2	0.9	
専門学科	610	333	324	299	210	131	134	106	24	4	93	17	
	100.0	54.6	53.1	49.0	34.4	21.5	22.0	17.4	3.9	0.7	15.2	2.8	

前回調査と比べると、「地域活動に参加したことはない」は、前回の13.6%から14.7%とわずかに増えている。

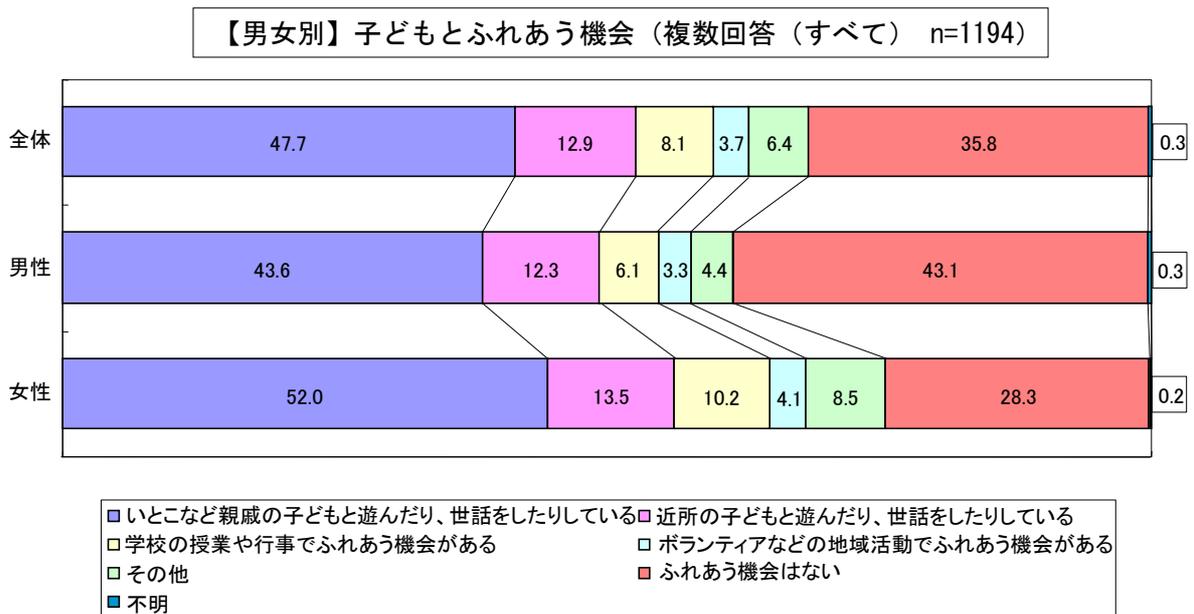
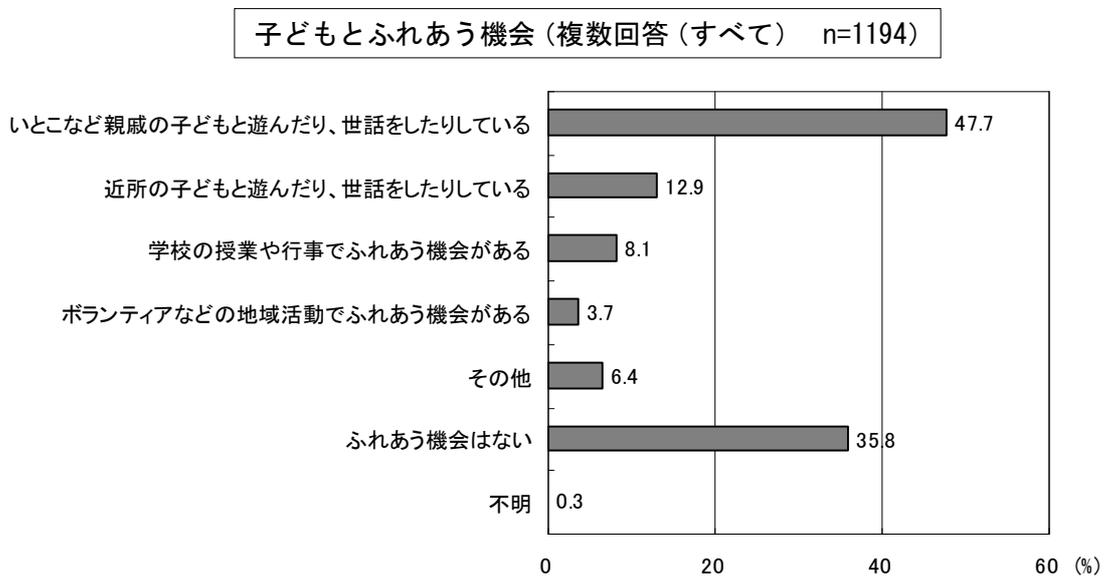
しかし、「伝統行事」が40.5%から52.7%に、また、「社会貢献活動」が45.7%から50.9%に増えるなど、「野外活動」と「国際交流活動」を除いて全体的に参加は多くなっている。



(2) 子どもとふれあう機会

「いとかなど親戚の子どもと遊んだり、世話をしたりしている」が 47.7%と最も多い。「近所の子どもと遊んだり、世話をしている」が 12.9%、「学校の授業や行事でふれあう機会がある」が 8.1%となった。一方、「ふれあう機会はない」は 35.8%となっている。親戚以外の小さな子どもと接触する機会があまりないことが窺える。

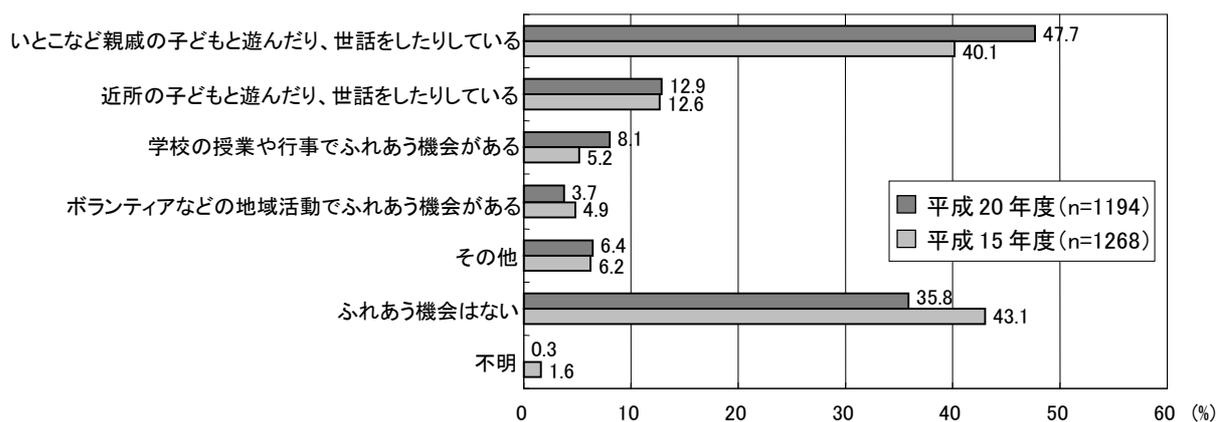
男女別では、「ふれあう機会はない」が女性の 28.3%に対し、男性では 43.1%と 4 割を超え、男女での違いを示している。



子どもとふれあう機会について								
上段:回答数、下段:割合								
	合計	いとこなど親戚の子どもと遊んだり、世話をしたりしている	近所の子どもと遊んだり、世話をしたりしている	学校の授業や行事でふれあう機会がある	ボランティアなどの地域活動でふれあう機会がある	その他	ふれあう機会はない	不明
全体	1194 100.0	570 47.7	154 12.9	97 8.1	44 3.7	77 6.4	428 35.8	3 0.3
男性	608 100.0	265 43.6	75 12.3	37 6.1	20 3.3	27 4.4	262 43.1	2 0.3
女性	586 100.0	305 52.0	79 13.5	60 10.2	24 4.1	50 8.5	166 28.3	1 0.2
普通科	584 100.0	264 45.2	69 11.8	37 6.3	22 3.8	43 7.4	215 36.8	1 0.2
専門学科	610 100.0	306 50.2	85 13.9	60 9.8	22 3.6	34 5.6	213 34.9	2 0.3

前回調査と比べると、「ふれあう機会はない」は43.1%から35.8%に減っている。
 「いとこなど親戚の子どもと遊んだり、世話をしたりしている」や「学校の授業や
 行事でふれあう機会がある」などが増えている。

子どもとふれあう機会（複数回答（すべて））【前回比較】



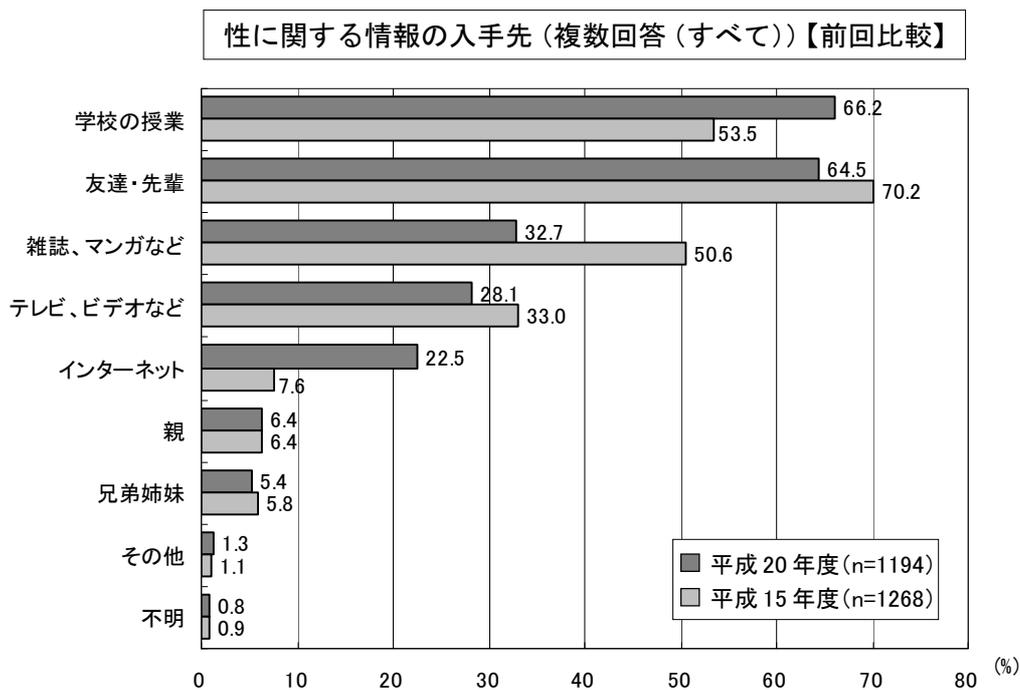
(3) 性に関すること

●性に関する情報の入手先

「学校の授業」66.2%、次いで、「友達・先輩」が64.5%と高くなった。また「雑誌、マンガなど」が32.7%、「テレビ、ビデオなど」28.1%、「インターネット」22.5%となった。

男女別では、男性が女性より「友達・先輩」、「インターネット」、「テレビ、ビデオなど」の割合が高い。とくに「インターネット」は、女性の14.0%に対し男性では30.8%となっている。女性は男性より、「学校の授業」、「親」、「兄弟姉妹」などで割合が高い。

前回調査と比べると、「インターネット」が7.6%から22.5%と大きく増えている。また、「学校の授業」も増えている。一方で、「友達・先輩」や「雑誌、マンガなど」などが減っている。



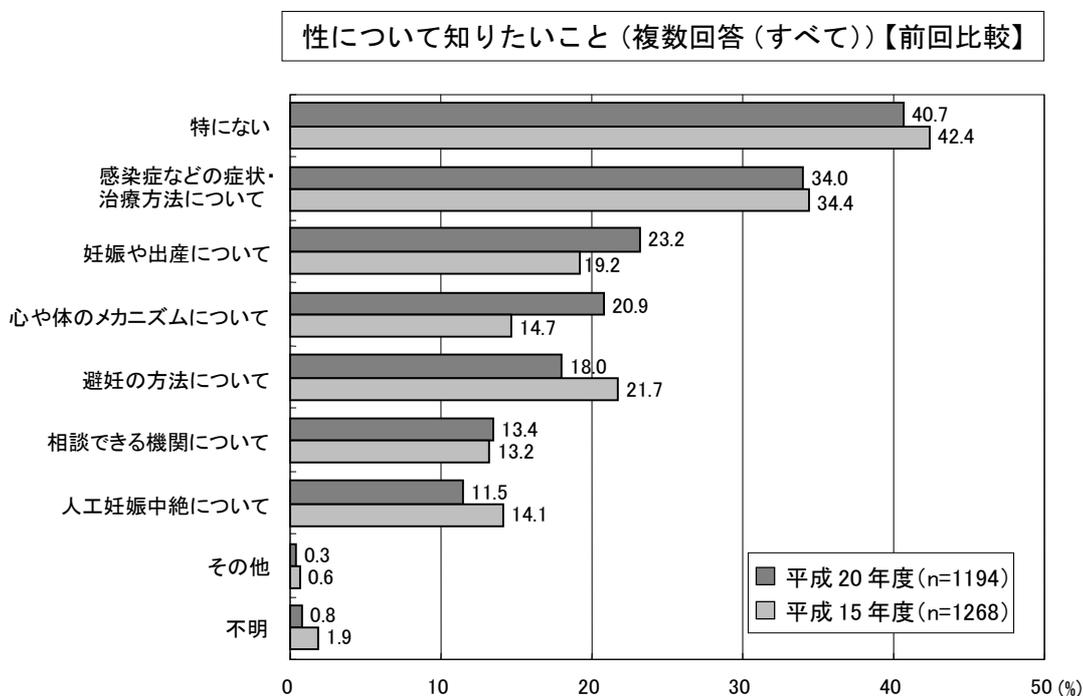
性に関する情報の入手先		上段：回答数、下段：割合									
	合計	学校の授業	友達・先輩	雑誌、マンガなど	テレビ、ビデオなど	インターネット	親	兄弟姉妹	その他	不明	
全体	1194	790	770	391	336	269	76	64	16	9	
	100.0	66.2	64.5	32.7	28.1	22.5	6.4	5.4	1.3	0.8	
男性	608	380	404	196	183	187	34	24	13	4	
	100.0	62.5	66.4	32.2	30.1	30.8	5.6	3.9	2.1	0.7	
女性	586	410	366	195	153	82	42	40	3	5	
	100.0	70.0	62.5	33.3	26.1	14.0	7.2	6.8	0.5	0.9	
普通科	584	392	344	191	159	130	38	26	7	5	
	100.0	67.1	58.9	32.7	27.2	22.3	6.5	4.5	1.2	0.9	
専門学科	610	398	426	200	177	139	38	38	9	4	
	100.0	65.2	69.8	32.8	29.0	22.8	6.2	6.2	1.5	0.7	

●性について知りたいこと

「特にない」が40.7%と最も多く、次いで、「感染症などの症状・治療方法について」が34.0%となっている。

男女別では、女性で「妊娠や出産について」が31.2%と、男性の15.5%に比べ高い割合となっている。

前回調査と比べると、「避妊の方法」や「人工妊娠中絶」などが減って、「妊娠や出産について」や「心や体のメカニズムについて」などが増えている。



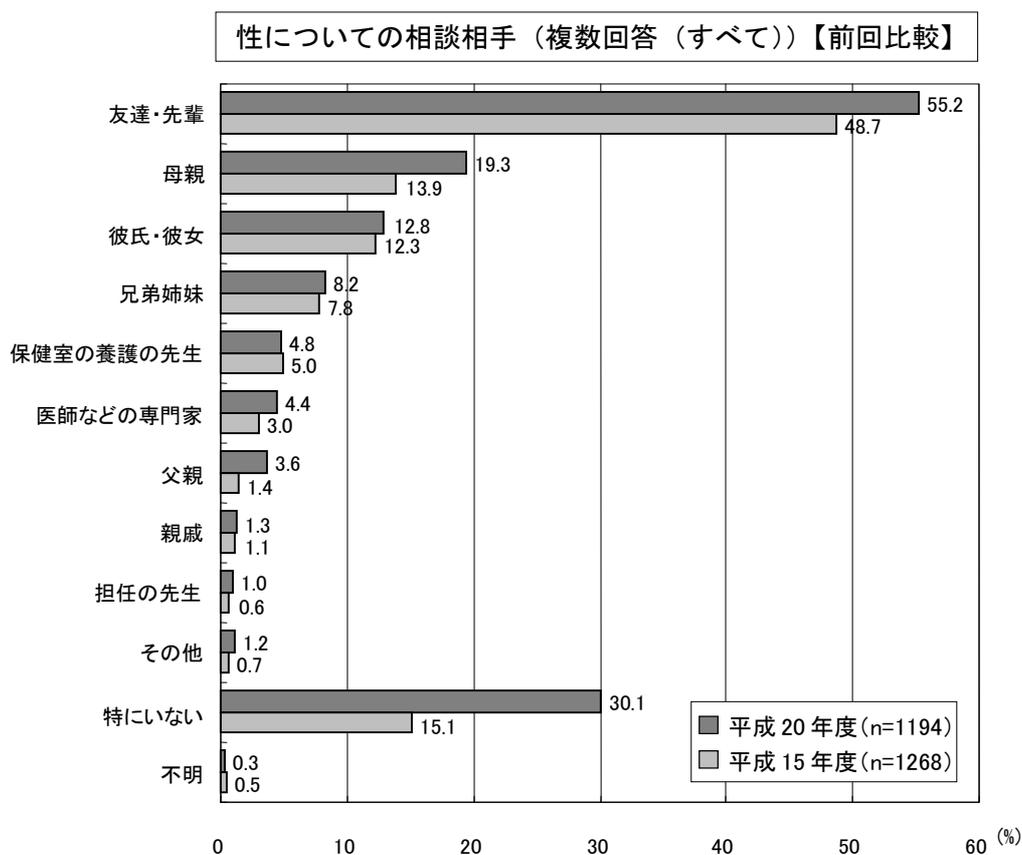
性について知りたいこと		上段:回答数、下段:割合								
	合計	特にない	感染症などの症状・治療方法について	妊娠や出産について	心や体のメカニズムについて	避妊の方法について	相談できる機関について	人工妊娠中絶について	その他	不明
全体	1194 100.0	486 40.7	406 34.0	277 23.2	249 20.9	215 18.0	160 13.4	137 11.5	4 0.3	9 0.8
男性	608 100.0	279 45.9	207 34.0	94 15.5	128 21.1	116 19.1	74 12.2	60 9.9	4 0.7	6 1.0
女性	586 100.0	207 35.3	199 34.0	183 31.2	121 20.6	99 16.9	86 14.7	77 13.1	0 0.0	3 0.5
普通科	584 100.0	245 42.0	191 32.7	113 19.3	119 20.4	96 16.4	77 13.2	55 9.4	2 0.3	5 0.9
専門学科	610 100.0	241 39.5	215 35.2	164 26.9	130 21.3	119 19.5	83 13.6	82 13.4	2 0.3	4 0.7

●性についての相談相手

「友達・先輩」が55.2%と高い割合となった。次いで、「母親」19.3%、「彼氏・彼女」12.8%となっている。

男女別では、女性が「母親」を31.9%とするのに対し、男性では「父親」は5.9%となっており両者の違いがみられる。

前回調査と比べると、「特にいない」が15.1%から30.1%と大きく増えている。



性についての相談相手		上段:回答数、下段:割合												
	合計	友達・先輩	母親	彼氏・彼女	兄弟姉妹	保健室の養護の先生	医師などの専門家	父親	親戚	担任の先生	その他	特にいない	不明	
全体	1194 100.0	659 55.2	231 19.3	153 12.8	98 8.2	57 4.8	53 4.4	43 3.6	16 1.3	12 1.0	14 1.2	359 30.1	4 0.3	
男性	608 100.0	276 45.4	44 7.2	69 11.3	28 4.6	17 2.8	41 6.7	36 5.9	8 1.3	10 1.6	7 1.2	261 42.9	1 0.2	
女性	586 100.0	383 65.4	187 31.9	84 14.3	70 11.9	40 6.8	12 2.0	7 1.2	8 1.4	2 0.3	7 1.2	98 16.7	3 0.5	
普通科	584 100.0	323 55.3	129 22.1	61 10.4	49 8.4	23 3.9	26 4.5	20 3.4	9 1.5	3 0.5	10 1.7	166 28.4	1 0.2	
専門学科	610 100.0	336 55.1	102 16.7	92 15.1	49 8.0	34 5.6	27 4.4	23 3.8	7 1.1	9 1.5	4 0.7	193 31.6	3 0.5	

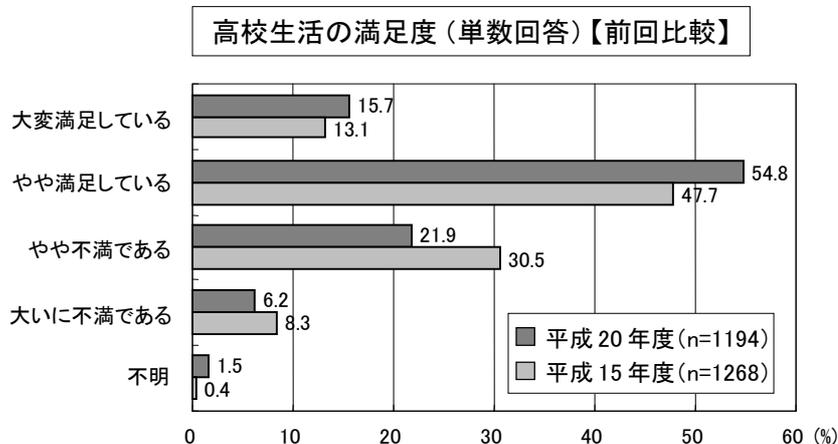
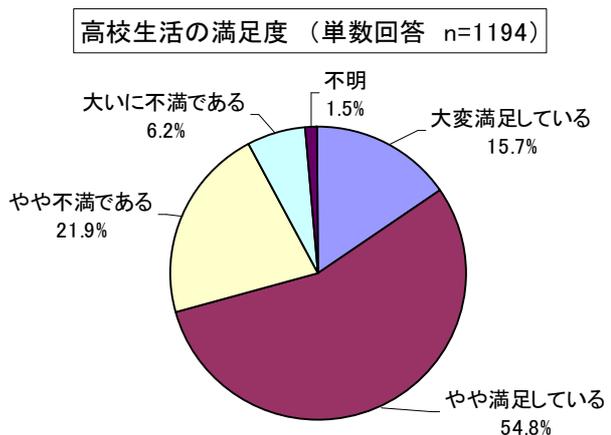
(4) 高校生活の満足度

「大変満足している」の15.7%と「やや満足している」の54.8%を合わせると70.5%となった。ただし、「やや不満である」の21.9%、「大いに不満である」の6.2%を合わせると28.1%となり、約3割が学校生活に満足していないとしている。

男女別では、「大変満足している」、「やや満足している」は女性が多く、「やや不満」、「大いに不満」は男性が多くなっている。

学科別では、「やや満足している」は、ほぼ同じ割合であるが、普通科では「大変満足」が多く、専門学科で「やや不満」と「大いに不満」が多くなっている。

前回調査と比べると、「大いに不満である」と「やや不満である」が減っている。



高校生活の満足度		上段: 回答数、下段: 割合				
	合計	大変満足している	やや満足している	やや不満である	大いに不満である	不明
全体	1194 100.0	187 15.7	654 54.8	261 21.9	74 6.2	18 1.5
男性	608 100.0	85 14.0	321 52.8	149 24.5	45 7.4	8 1.3
女性	586 100.0	102 17.4	333 56.8	112 19.1	29 4.9	10 1.7
普通科	584 100.0	124 21.2	319 54.6	104 17.8	24 4.1	13 2.2
専門学科	610 100.0	63 10.3	335 54.9	157 25.7	50 8.2	5 0.8

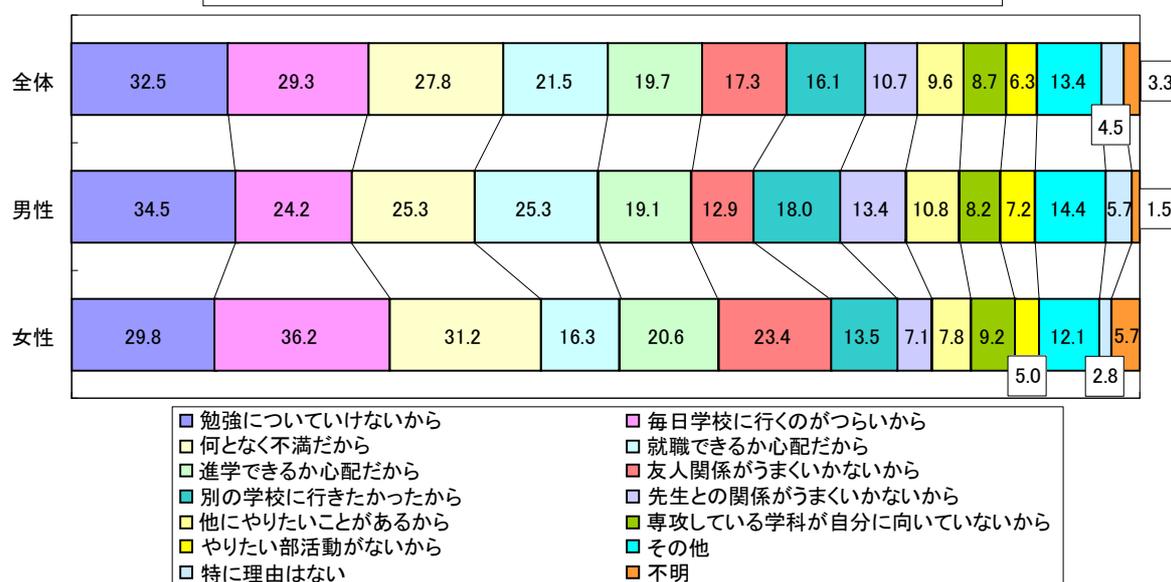
●高校生活に不満がある理由

「やや不満である」、「大いに不満である」と回答した 335 人にその理由を質問した。

「勉強についていけないから」が 32.5%、次いで、「毎日学校に行くのがつらいから」29.3%、「何となく不満だから」27.8%となっている。

前回調査と比べて、「勉強についていけないから」や「就職できるか心配だから」などの項目が増えている。

【男女別】高校生活に不満がある理由（複数回答（3 つまで））



高校生活に不満がある理由（複数回答（3 つまで））【前回比較】

